

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ひらまつ 上場取引所 東
 コード番号 2764 URL <https://www.hiramatsu.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 三須 和泰
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 経営管理本部長（氏名） 服部 亮人 TEL 03-5793-8818
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|-----------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期中間期 | 4,466 | △19.6 | △66 | — | △67 | — | △28 | — |
| 2025年3月期中間期 | 5,555 | △13.9 | △50 | — | △129 | — | 1,676 | — |

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △44百万円（—%） 2025年3月期中間期 1,689百万円（—%）

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年3月期中間期 | △0.40 | — |
| 2025年3月期中間期 | 23.75 | 22.62 |

2026年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年3月期中間期 | 11,480 | 5,856 | 50.8 |
| 2025年3月期 | 12,142 | 5,895 | 48.4 |

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 5,834百万円 2025年3月期 5,873百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2026年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2026年3月期（予想） | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-------|------|-------|------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,392 | △11.9 | 181 | △27.1 | 172 | △0.7 | 211 | △86.2 | 2.99 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2026年3月期中間期 | 74,740,400株 | 2025年3月期 | 74,740,400株 |
| 2026年3月期中間期 | 4,092,989株 | 2025年3月期 | 4,138,889株 |
| 2026年3月期中間期 | 70,613,801株 | 2025年3月期中間期 | 70,590,271株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当中間期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当中間期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 6 |
| 中間連結損益計算書 | 6 |
| 中間連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日~2025年9月30日)における日本経済は、個人消費やインバウンド需要の回復基調が続いたものの、記録的な猛暑や物価上昇、人手不足などの影響により、飲食業界全体では依然として厳しい経営環境が続きました。こうした環境の中、当社グループは、「中期経営計画2030」の初年度として掲げた生産性向上および事業基盤の強化・拡大に向けた施策を推進するとともに、各事業において従来から取り組んできた付加価値提案の強化や価格適正化などの施策を通じて、収益機会の拡大を進めました。

レストラン事業につきましては、「メゾン ポール・ボキューズ」(代官山)のリニューアルに伴う休業の影響により売上が前年同期を下回ったほか、企画展の集客力の違いにより国立新美術館内店舗の売上が想定を下回りました。一方、これらの特殊要因の影響を受けない既存店につきましては、記録的な猛暑により夏季の集客は一部で伸び悩んだものの、各種施策の効果により堅調に推移し、売上は当初計画および前年同期をともに上回りました。

ブライダル事業につきましては、「メゾン ポール・ボキューズ」(代官山)のリニューアルに伴う休業等の影響により実施組数は前年同期を下回りましたが、招待人数の増加を促す施策により1組あたりの参列者数が増加したことに加え、飲食の単価向上施策が奏功した結果、組単価が上昇し、売上は前年同期および当初計画を上回りました。なお、下期および来期以降に向けた婚礼獲得営業につきましても、リニューアル効果が寄与し、好調に推移しております。

ホテル事業につきましては、2024年7月1日のホテル資産譲渡に伴いMC契約(マネジメント契約)へ移行したことから、譲渡日以降の売上は当社に計上されず、前年同期との単純比較では大幅な減収となりました。各ホテルの運営状況につきましては、同等価格帯のホテル開発が進むなど競争環境が一段と厳しくなる中、価格改定により客単価は上昇したものの、一部施設では稼働率が低下し、売上は前年同期および当初計画を下回りました。なお、対策として、市場動向に応じた価格戦略の見直しや、価値向上に向けたサービス改善、情報発信の強化等に取り組んでおります。

その他事業につきましては、新たな収益機会となる「カフェディオール バイ アンヌ=ソフィー・ピック」等の運営受託事業が堅調に推移したことにより、売上は概ね当初計画どおりとなりました。

利益面につきましては、増収効果に加え、戦略的な人財投資として全社員を対象としたベースアップを実施した一方、「中期経営計画2030」で掲げる生産性向上の取り組みが着実に進展し、人件費の適正化およびコストコントロールの効果が現れたことから、営業損益・経常損益とも当初計画を上回りました。さらに、税制上の効果も寄与した結果、当期純利益は当初計画を大幅に上回りました。

これらの結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高4,466百万円(前年同期比19.6%減、当初計画比0.9%増)、営業損失66百万円(前年同期50百万円の営業損失、当初計画126百万円の営業損失)、経常損失67百万円(前年同期129百万円の経常損失、当初計画136百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純損失28百万円(前年同期1,676百万円の中間純利益、当初計画152百万円の中間純損失)となりました。MC契約への移行により前年同期比では減収となったものの、売上および各段階利益は当初計画を上回る着地となりました。

なお、ホテル事業のMC契約への移行に伴い、譲渡日以降の収益は運営受託報酬として「その他」セグメントに計上してはいたしましたが、当中間連結会計期間より報告セグメントの区分を見直し、単一セグメントとして開示しております。このため、セグメント別の経営成績の記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ661百万円減少し、11,480百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,366百万円減少し、固定資産、原材料及び貯蔵品がそれぞれ、466百万円増加、290百万円増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ622百万円減少し、5,624百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が586百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ38百万円減少し、5,856百万円となりました。これは主に、利益剰余金が28百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,366百万円減少し、5,279百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は857百万円(前年同期は572百万円の支出)となりました。これは主に、棚卸資産の増加が290百万円(同125百万円の増加)、未払消費税等の減少が586百万円(同11百万円の増加)となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は391百万円(前年同期は12,259百万円の獲得)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出が246百万円(前年同期は144百万円の支出)となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は116百万円(前年同期は10,668百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が115百万円(前年同期は14,481百万円の支出)となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、上期実績を踏まえ、2025年11月6日に公表いたしました「業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」のとおり修正しております。なお、第3四半期以降も主要事業の稼働は堅調に推移する見込みであり、今後の需要動向や各施策の進捗いかんによっては業績がさらに上振れる可能性もありますが、現時点では判明している範囲の情報をもとに合理的に算定した通期見通しを開示しております。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要因が含まれております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2025年9月30日) |
|-------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,645,161 | 5,279,000 |
| 売掛金 | 547,464 | 446,572 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,659,667 | 1,949,987 |
| その他 | 574,506 | 623,152 |
| 貸倒引当金 | △3,154 | △3,127 |
| 流動資産合計 | 9,423,644 | 8,295,586 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,373,500 | 1,574,049 |
| その他(純額) | 282,875 | 377,493 |
| 有形固定資産合計 | 1,656,375 | 1,951,543 |
| 無形固定資産 | 24,058 | 26,786 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 952,300 | 1,042,988 |
| その他 | 85,694 | 163,845 |
| 投資その他の資産合計 | 1,037,995 | 1,206,833 |
| 固定資産合計 | 2,718,429 | 3,185,163 |
| 資産合計 | 12,142,074 | 11,480,749 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2025年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 420,915 | 427,121 |
| 短期借入金 | 1,700,000 | 1,700,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 230,000 | 230,000 |
| 本社移転費用引当金 | 30,800 | 20,000 |
| 未払法人税等 | 32,215 | 15,587 |
| 契約負債 | 368,485 | 408,415 |
| 資産除去債務 | 65,490 | 45,884 |
| その他 | 1,295,845 | 773,902 |
| 流動負債合計 | 4,143,752 | 3,620,911 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,897,500 | 1,782,500 |
| 資産除去債務 | 205,607 | 205,876 |
| その他 | 13 | 15,105 |
| 固定負債合計 | 2,103,120 | 2,003,481 |
| 負債合計 | 6,246,872 | 5,624,392 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金 | 7,645,077 | 7,628,461 |
| 利益剰余金 | 56,240 | 27,720 |
| 自己株式 | △2,042,934 | △2,020,305 |
| 株主資本合計 | 5,758,382 | 5,735,875 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 115,298 | 98,961 |
| その他の包括利益累計額合計 | 115,298 | 98,961 |
| 新株予約権 | 21,520 | 21,520 |
| 純資産合計 | 5,895,201 | 5,856,357 |
| 負債純資産合計 | 12,142,074 | 11,480,749 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 5,555,250 | 4,466,922 |
| 売上原価 | 2,441,588 | 2,027,297 |
| 売上総利益 | 3,113,661 | 2,439,625 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,163,825 | 2,506,269 |
| 営業損失(△) | △50,163 | △66,643 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 602 | 7,196 |
| 為替差益 | 830 | - |
| 業務受託料 | 4,231 | 6,644 |
| 受取賃貸料 | 10,652 | 11,698 |
| その他 | 23,501 | 4,683 |
| 営業外収益合計 | 39,819 | 30,222 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 33,321 | 20,376 |
| 社債利息 | 239 | - |
| アレンジメントフィー | 80,000 | - |
| 為替差損 | - | 8,628 |
| 株式報酬費用消滅損 | 613 | - |
| その他 | 5,333 | 1,647 |
| 営業外費用合計 | 119,508 | 30,652 |
| 経常損失(△) | △129,852 | △67,073 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,808,212 | - |
| 特別利益合計 | 1,808,212 | - |
| 税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△) | 1,678,359 | △67,073 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 16,212 | 15,587 |
| 法人税等調整額 | △14,441 | △54,140 |
| 法人税等合計 | 1,770 | △38,553 |
| 中間純利益又は中間純損失(△) | 1,676,588 | △28,520 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△) | 1,676,588 | △28,520 |

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) |
|-----------------|--|--|
| 中間純利益又は中間純損失(△) | 1,676,588 | △28,520 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 12,519 | △16,337 |
| その他の包括利益合計 | 12,519 | △16,337 |
| 中間包括利益 | 1,689,108 | △44,857 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 1,689,108 | △44,857 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | - | - |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) |
|-----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△) | 1,678,359 | △67,073 |
| 減価償却費 | 234,243 | 103,150 |
| 本社移転費用引当金の増減額(△は減少) | - | △10,800 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △63 | △27 |
| アレンジメントフィー | 80,000 | - |
| 支払利息 | 33,321 | 20,376 |
| 社債利息 | 239 | - |
| 株式報酬費用 | 10,918 | 4,233 |
| 固定資産売却益 | △1,808,212 | - |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 418,055 | 105,957 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △125,672 | △290,320 |
| 前渡金の増減額(△は増加) | △24,919 | 101,927 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △330,886 | 5,042 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △203,213 | △22,601 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △67,513 | △27,762 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 11,979 | △586,014 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | - | △158,584 |
| 契約負債の増減額(△は減少) | △16,120 | 41,238 |
| 預り金の増減額(△は減少) | △56,999 | 3,826 |
| その他 | △342,961 | △34,177 |
| 小計 | △509,446 | △811,609 |
| 利息及び配当金の受取額 | 602 | 6,977 |
| 利息の支払額 | △31,055 | △20,740 |
| 法人税等の支払額 | △32,424 | △32,215 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △572,322 | △857,587 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △13,600 | △1,831 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △144,061 | △246,807 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 12,126,201 | - |
| 資産除去債務の履行による支出 | - | △22,790 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △3,216 | △91,808 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 294,005 | 149 |
| 建設協力金の支払による支出 | - | △30,000 |
| 建設協力金の回収による収入 | - | 1,200 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 12,259,328 | △391,888 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 1,700,000 | - |
| 長期借入れによる収入 | 2,300,000 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | △14,481,381 | △115,000 |
| 社債の償還による支出 | △100,000 | - |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △7,020 | △1,841 |
| アレンジメントフィーの支払額 | △80,000 | - |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △10,668,401 | △116,841 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 3,065 | 157 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,021,669 | △1,366,160 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,630,366 | 6,645,161 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 6,652,035 | 5,279,000 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループの報告セグメントは、レストラン事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループの報告セグメントは、従来「レストラン事業」と「ホテル事業」に区分しておりましたが、当中間連結会計期間から、「レストラン事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、「ホテル事業」のMC契約への移行に伴い、譲渡日以降の売上が当社に帰属しなくなったため、「レストラン事業」の単一セグメントとすることが、当社グループの経営実態をより適切に反映するものと判断したことによるものであります。

この変更により、前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間におけるセグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。